

豚熱発生農場への防疫対策の見直し

奈良県における取組

【担当省庁】 農 林 水 産 省

現状と課題（背景・要望する理由等）

○ 豚熱に対する防疫対応状況

- ・令和2年1月に飼養豚へのワクチン接種を開始
- ・令和2年10月には、県内で初の豚熱感染野生いのししを確認
- ・県内野生いのししの豚熱感染確認を受け、県内養豚場では最大限の警戒をしている中、奈良市の養豚場で豚熱が発生

- ・その後、発生農家は経営再開を目指していたが、最終的に経営再建を断念

R3.3.29	奈良市の養豚場で子豚の死亡頭数増加 PCR検査で豚熱ウイルスを確認
R3.3.31	農研機構動物衛生部門で豚熱野外株と判明 <u>直ちに発生養豚場における防疫措置を開始</u>
R3.4.3	1,089頭の殺処分完了、埋却処理完了（18時）

★豚熱県内発生事例の経過

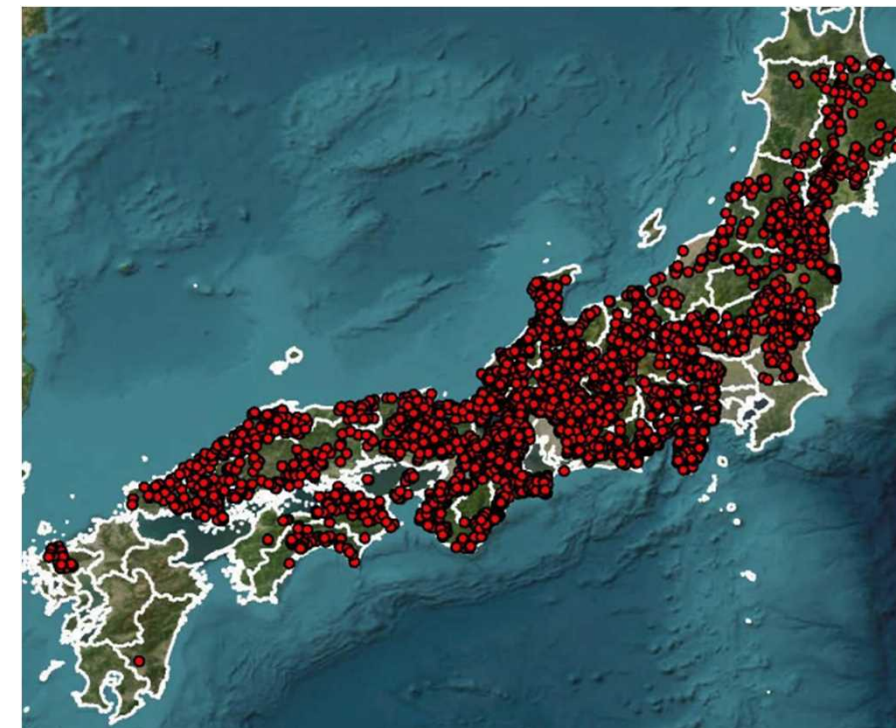
○ 野生いのししでの豚熱陽性事例の確認

- ・すでに野生いのししに豚熱感染が確認された地域においては、野生いのししから飼養豚への感染リスクが高い状態にあることから、飼養衛生管理基準遵守の徹底に加え、ワクチン接種を実施している。

○ 全頭殺処分は、発生農場に過大な経済的・精神的負担

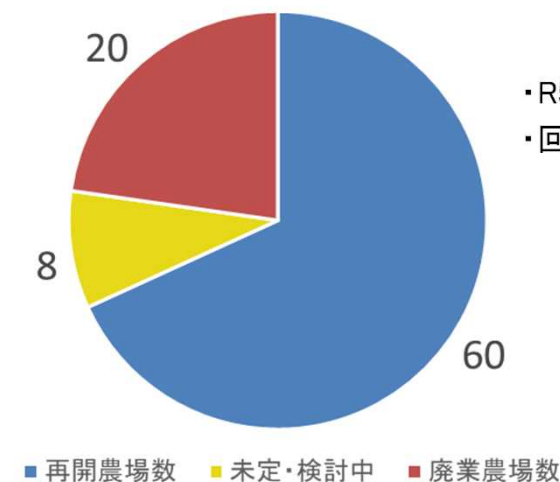
- ・ワクチン接種地域においても豚熱感染豚が1頭でも確認されれば、ワクチン接種豚を含む全頭が殺処分となる。しかし、このことは発生農場に経済的・精神的に大きな負担を強いる一方で、野生いのししでの感染状況を考えると、全頭殺処分によるまん延防止効果は限定的と考えられる

○ 豚熱感染野生いのしし発見地点（累積：令和7年5月21日時点）



農林水産省HPより

○ 全国の豚熱発生農場の経営再開状況（奈良県調べ）



- ・R5.3月に発生都府県に向けてアンケート調査を実施
- ・回答のあった16都府県の回答を集計

国にお願いすること

- 「農場の分割」という発生時の影響緩和を図るための手法が示されているが、奈良県の農場は小規模で、用地など物理的な制約が大きく実現が難しい。については、食料・農業・農村政策審議会 家畜衛生部会 第103回牛豚等疾病小委員会で示された豚熱の殺処分範囲の見直し（繁殖候補豚を含む繁殖豚を殺処分から除外）の早急な実施をお願いする。また、肥育豚等の殺処分についても条件の緩和についての検討をお願いする。

【県担当部局】 食農部畜産課